

熊建協発第136号

平成29年10月26日

各支部・部会の長 殿

一般社団法人 熊本県建設業協会

会長 橋口光



### 「復興係数」引き上げ等の施工確保対策の導入について

国土交通省では熊本地震等の復旧・復興工事において、円滑な施工の確保に万全を期すため、

- ①不調・不落多発の阿蘇地域・上益城地域での「復興係数」の引き上げ
- ②熊本県への設計変更等に関する技術的支援等
- ③営繕積算方式活用マニュアル【熊本被災地版】の拡充 等  
新たな対策を講じることを決定されましたので以下お知らせします。

このように熊本地震からの復旧・復興に係る施工確保対策が前進しますが、今後、業界側の対応が一層求められることも考えられますので、会員各位への周知徹底をお願いします。

#### ○「復興係数」の引き上げ（より適切な予定価格の設定）

- ・『不調・不落が多発している阿蘇地域及び上益城地域における土木工事の共通仮設費率の引き上げ(1.1→1.4)』  
※熊本県が発注する工事においても同様の措置を適用。

#### ○地方公共団体への技術指導等の支援

- ・熊本県が設置する「災害復旧推進チーム」へ九地整による技術指導等の支援。
- ・砂防等特定工種における見積活用方式や柔軟な設計変更等に関する技術的支援等。

#### ○営繕積算方式活用マニュアル【熊本被災地版】の拡充

- ・発注時に想定していない道路通行止め等による資機材・建設機械の運搬費増加分が契約変更の対象であること等を明確化。

平成29年(2017年)10月26日 木曜日

# 予定価格引き上げへ

上益城、阿蘇「不調・不落」で対策

国交省

国土交通省は25日、した。

熊本地震の復旧・復興に向けた公共土木工事について、受注業者が決まらない入札の「不調・不落」が多発している上益城、阿蘇両地域を対象に、11月から予定価格引き上げに必要な対策を始めると発表した。蒲島郁夫知事が要望を受けた石井啓一国交相が明らかに

国交省によると、県発注工事の9月の不調率は県全体が17%だつたのに対し、上益城は43%、阿蘇は38%に上った。

国交省や県は、国道57号など幹線道路の通り、熊本地震で予定価格引き上げ対策を行うには2回目。

一方、県は同日、土木部や地域振興局の職員でつくる「災害復旧推進チーム」を11月に

の積算で使用する、資材運搬費などの「共通仮設費」を基準の1・4倍に引き上げる。

国交省は2月にも県内全域を対象に共通仮設費や現場管理費を基



熊本地震からの復旧・復興に向け、県発注工事の不調・不落対策を石井啓一国交相（左）に要望する蒲島郁夫知事（右から2人目）＝25日、東京・霞が関

も設置すると発表した。国交省九州地方整備局から支援を受け、作業現場の実態に見合った柔軟な設計変更などを通じて入札しやすい環境づくりを進めること。

蒲島知事は「今回の対策で、不調・不落が解消に向かうことを期待したい」と述べた。

（内田裕之）